

鳥栖中学校区 小中一貫教育だより



鳥栖中学校 鳥栖小学校 鳥栖北小学校

令和2年2月3日(月)

鳥栖中学校区では、平成30年度・令和元年度、鳥栖市教育委員会の委嘱を受け、教職員の合同研修・各学校相互の授業参観・児童生徒に関わる情報交換等を行いながら、「鳥栖中学校区小中一貫教育」を推進して参りました。児童生徒の知・徳・体の調和の取れた成長を願って、3校共通の研究主題を「心豊かで、たくましく、自ら学ぶ“とすっ子”の育成」とし、義務教育9年間を見通して、鳥栖中学校区が抱える教育課題の解決と改善を図るべく研究実践に取り組んできました。

鳥栖中学校区では、小中一貫教育を推進するために各校に4部会を組織し、部会ごとに共通テーマを掲げて研究に取り組みました。今号では、今年度の「鳥栖中学校区小中一貫教育」の各部会で研究内容の一部をご紹介します。



【学びづくり部】

研究主題：深い学びにつながる「話し合う活動」を取り入れた授業づくり

学びづくり部では、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、「話し合う活動」を取り入れた授業づくりに小中一貫して取り組みました。「話し合う活動」を授業の中で友達と意見を交わしながら、よりよい考えを話し合ったり、新しい考えを作ったりする活動と捉え、授業の中に取り入れるようにしました。その結果、各教科では、話し合いに抵抗がなくなり、活発な話し合いにする力の向上が見られました。また、自分の意見を発表するだけでなく、友達の考えをよく聞こうとする態度も向上してきました。

また、教科「日本語」では、活動中心の学習であるため、子どもたちは、この時間を楽しみにしていて、友達と意見を交わしながら学習する姿が見られました。先生方からは、教科「日本語」に「話し合う活動」を取り入れたことで、話し合いを活性化させる方法を考える機会になったという意見が出されました。



小学校算数教科「図形の角」



中学校教科「日本語」 「佐賀の焼き物は私たちの自慢」

【仲間づくり部】

研究主題：自他のよさを認め、伝え合う仲間づくり

仲間づくり部のねらいは、児童生徒が、義務教育9年間をかけて、自己有用感に裏付けられた自己肯定感を高め、人間関係をよりよく形成することです。

3校で共通実践した取組の一部を紹介します。鳥栖中学校区では、中学生が小学校に出向き、小学生と共に挨拶運動をしています。一緒に活動することで、「明るく元気に挨拶する小学生に刺激を受けた」や「あんなしっかりした中学生になりたい」といった感想が寄せられました。

また、各学校で児童生徒のよいところを探しそれを広める活動や人権集会を行いました。この取組を通して、人権を大切に思う感覚を育むことができました。月に一度実施の生活アンケートでも「学校は楽しい」と回答する児童生徒が多数を占めました。

このように、3校合同で取り組み、小中の交流の場をつくることで、中1ギャップの解消に役立てることができ、よりよい人間関係を形成する基盤を築くことができました。



挨拶運動の様子



人権集会の様子

【生活づくり部】

研究主題：“自ら学ぶ”基礎となる生活習慣・学習習慣づくり

生活づくり部では、小中9年間で、指導内容や指導方法などに着目して連携を行い、生活習慣の確立や学習習慣の基盤作りを行ってきました。

学習規律アップ週間では、「学習の約束」を小中学校全てのクラスに掲示し、特に「授業準備」と「チャイム着席」、「挨拶」の3つの取組を徹底しました。また、中学校の定期テストに合わせて生活習慣や学習状況のチェックを行っています。保護者の皆様にコメントをお願いし、生活・学習習慣づくりをサポートしていただきました。そのときの保護者の感想を2つ紹介します。

・ゲームの時間が、こちらから言わないと守れないので、意識してほしいです。(小学校中学年)
・全体的には生活リズムが整っていると思います。これからは勉強時間やテレビの時間を意識して生活してほしいと思います。(小学校高学年)

中学校の新生説明会では、生徒会役員が生活面・学習面での約束を分かりやすく伝え、中学校生活の事前学習の場となるようにしています。

このように小中学校で一貫性のある取組をすることで、9年間を見通した学習指導ができるようになってきました。また、「学習の約束」を継続的に指導することで、学習に対する不安や中1ギャップを軽減する一助となっていると考えています。



新生説明会での生徒会による説明

【特別支援教育部】

研究主題：義務教育期の障害のある児童生徒の自立を目指した特別支援教育体制づくり

近年、特別支援教育へのニーズは高まっており、鳥栖中学校区は、県内でも最大規模の特別支援学級数となっています。

特別支援教育部には若手の先生方も多いことを踏まえ、授業公開・授業研究会や合同研修会を小中合同で実施しています。参観して感じた疑問や普段の指導に関する質疑や意見交換を行ったり、夏季休業中には授業のユニバーサルデザイン化についての研修会を行ったりしています。

小中学校間での情報共有の取組として、なかよし交流会を行っています。対象を小学校5年生以上の児童生徒に絞り、中学校生活をよりスムーズにスタートできるような仲間づくりを行うようにしています。また、小学5年生の保護者を対象に、中学校の特別支援教育体制の説明会をなかよし交流会の後に設定し、保護者へ情報を提供しています。



特別支援部研修会の様子



なかよし交流会の様子

